

楽ら読く楽ら書く 第34号

平成29年1月発行

精華町立図書館

所在地：〒619-0285 京都府相楽郡精華町大字南稲八妻小字北尻70番地

電話：0774-95-1911 FAX：0774-95-3976

HP：<http://www.town.seika.kyoto.jp/library/>

おすすめの本

『京奉行 長谷川平蔵』秋月達郎(著) Fアキ

長谷川平蔵と言えば、鬼平と呼ばれ、江戸の盗賊どもを震え上がらせた火付盗賊改方長官。本書はその鬼平のおやし殿、初代長谷川平蔵が京の都に奉行として赴任してから起こる事件の捕物帳です。今でも人気の高いあの若冲が、絵師としてまた錦市場の八百屋のご隠居として登場するくだりもあり、花を添えます。若き鬼平が、父の用人として活躍するのも一興です。さあ！京奉行長谷川平蔵の名裁き、とくとご覧あれ。

『幕末まらそん侍』土橋章宏(著) Fトバ

武士が走る!!

「ふざけるな！」安中藩勘定方片桐裕吾は藩主の沙汰を受けて思わず叫びました。その沙汰とは、鍛練のための遠足^{とおおし}、つまりマラソンを執行するというのです。コースは城をスタートし山上の神社のゴールまで、42.195キロならぬ七里七町(約28.3km)を走り抜くというもの。胸に一物を持つ片桐は、やるからには勝たねばと様々画策するのですが。

冬の風物詩であるマラソンを題材に展開される藩士たちの悲喜こもごものドラマに、沿道の応援団のごとくハラハラドキドキそして、ほっこりさせられます。

『とっぴんしゃん』上・下山本一カ(著) 児童 Fヤマ

一月の江戸深川が舞台、年に一度の仲町対冬木町の町対抗の子ども技比べ大会。仲町の大將大助、対する冬木町の大將与次郎、どちらもともに11歳。競うのは三種目、まず俵挙げ、綱引き、そして駆けっこ。裕福な材木問屋次男である与次郎はなにかとずるい仕事を仕掛けてき、大助たちはピンチに・・・はたしてこの勝負の決着は？

周りの大人たちに事あるごとに厳しく愛おしげに見守られて、真っ当にたくましく成長する子どもたちの姿に心がぬくぬくとしてきます。大人の方にもおすすめの子どもが主役の人情時代小説です。

子どもが走る!!